

# 持続可能な森林経営研究会

<http://sfmw.net/>

## 森林施業の問題点等に関するアンケート調査

### 課題1 森林情報の把握、内容、取り扱いについての問題点と対応

- 県ベースで各県毎に、森林GISが導入されているが、行政サイドの森林資源の管理・計画に留まっており、森林所有者のニーズにあったデータベースとなっていない。
- 森林GISを森林管理の基本媒体として国ベースで捉えて、資源管理はもとより履歴や境界、所有者等の基本的なデータベースとして活用すべきではないか。

### 課題2 目標とされている森林施業のあり方に関する問題点と対応

- 伐期の平準化と一斉伐採を回避する先延ばし策として、長伐期施業の必要性が議論されているが、長伐期施業の必要性と現実との乖離を感じる。
- 小面積の択抜と伐採跡地の植栽を繰り返す施業方法も取り入れてはどうか。
- 伐採→植栽→下刈り→除・間伐→伐採のサイクルを通した育林経費の低コストが叫ばれているが、如何に低コストを進めるかという前に、如何に高く売ることが先ではないか。
- 国全体で価格を押し上げる政策を採らない限り、現在の100ドル価格では山は成り立たないのではないか。

### 課題3 森林計画の体系、内容等に関する問題点と対応

- 森林所有者が自ら作成する森林施業計画が施業を実施する本来の役割から、補助金を得るための道具となっている。
- 市町村森林整備計画についても、市町村自ら作成しそれを森林所有者に遵守させる取組となっておらず、場当たりの計画になっている。またその必要性を市町村も認識していない。

### 課題4 森林計画の実行、森林施業の実行に関する問題点と対応

### 課題5 その他（自由にご意見を）